



# ボランティア ストーリーズ



福井市社協では、誰もが暮らしやすいまちづくりのため、バリアフリーやSDGsの取り組みを行っています。今回は、市内の高校生にも参加・協力していただいた、2つの活動を紹介します。

## 「たわらまち バリアフリーチェック」

2021年9月19日(日)に、市内の高校生と共にバリアフリー&ユニバーサルデザインチェックを実施しました。これは、同日開催の「カーフリーデー2021ふくい」の一環で、街にある様々なバリアやユニバーサルデザインに気づき、それらを調べ、伝え広めていくことで、誰もが安心して暮らせる安全なまちづくりにつなげていくものです。

当日は、市内3校、延べ17名の生徒等が参加しました。午前・午後に分かれ、田原町駅の構内やその周辺を車いすや白杖で歩きました。生徒たちは、普段利用している駅や道路等を、さまざまな人の立場にたって体験してみることで、新たな気づきや発見があったようです。

今回の気づきをまとめて、校内等で啓発する予定です。



さまざまな人が使いやすいような工夫がされているけれど、今後も改善して、いろんな人がスムーズに過ごせるような場所になっていったらいいなと思いました。



普段なかなか体験できないことを多く学べて、とても貴重な機会になりました。



気づいていないだけで、まちにはたくさんのバリアフリーやユニバーサルデザインが整備されていることに驚かされました。(写真はユニバーサルデザインの文字が使用されている駅名標)

## 「ブックサイクルと絵本の読み聞かせ」

2021年9月23日(木・祝)に、ショッピングシティ・ベルにて「ブックサイクルと絵本の読み聞かせ」を行いました。この催しは、SDGsの視点から、読まなくなった絵本の寄附を広く募り、必要とする子育て世代に届けることを目的に開催しました。また、ボランティア参加の場として、市内の高校生等が、イベントの事前準備や当日の運営のボランティアに携わりました。

当日は市内4校、6名の高校生が参加し、絵本の引き渡しのほか、絵本の読み聞かせやエプロンシアター(エプロンを使った人形劇)などの活動を行いました。



絵本の寄附(協力企業)  
・あいおいニッセイ同和損保㈱ 様  
・福井市郵便局福井北部会 様



読み聞かせのボランティアグループ(読み語りの会ほっと)のメンバーの方から絵本の持ち方や読むときの工夫を知ることができ、他のコーナーでも参加者の方が楽しんでる姿を見て、とてもよい体験になりました。



今までなかなかボランティアをする機会がなく、また、子どもたちと関わる活動は初めてでしたが、徐々に緊張が解けて楽しむことができました。子どもたちが話しかけてくれたり、笑顔で楽しんでくれたので、とても嬉しかったです!

市社協では、今後も高校生等のボランティア活動を応援していきます。

興味・関心のある方は、お気軽に福井市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問い合わせください。(TEL 22-0022)